

2023年度総合仏教研究所特別講座

# 石刻資料を用いた 中国中古仏教史研究

—その方法と意義—

講師 **倉本 尚徳** 先生  
(京都大学人文科学研究所准教授)

本研究所では特別講師に倉本尚徳先生をお迎えし、下記の日程で講義を開催いたします。  
どなたでも聴講できますので、ふるってご参加ください。(聴講無料・予約不要)

[時間] **15:10~16:50** (4時限目)

[場所] **総合仏教研究所 研究室1** (3号館4階)

第1回 5月 8日(月) 金石学の伝統と石刻資料を用いた  
中国仏教研究の歴史

第2回 5月22日(月) 仏教石刻資料の扱い方  
——実物・拓本・金石著録

第3回 6月12日(月) 造像記——地域社会の仏教信仰と実践

第4回 6月26日(月) 石刻経典  
——仏教信仰・実践における活用と保存

第5回 7月10日(月) 石碑・塔銘・墓誌  
——『続高僧伝』等との比較よりわかること

**【講義概要】**

中国では改革開放以降、考古発掘や現地調査が盛んに行われ、新出石刻が既存のものとともに陸続と整理・紹介されています。その中には仏教に関わるものも多数存在します。本講義では、中国の南北朝から隋唐時代にかけての中国中古仏教史を対象として、石刻資料(主に文字資料)研究の意義と重要性、文物資料としての性格や特徴、研究方法を具体的に学ぶことを主な目的とします。仏教石刻としては造像記・石刻経典・石碑・塔銘・墓誌などがあります。これら各資料の特徴と代表的事例について説明し、各地で行った実地調査の体験談を交えながら私の研究を具体的に紹介します。

**【問い合わせ先】** 大正大学総合仏教研究所 03-3918-7311(代表)

[https://www.tais.ac.jp/library\\_labo/sobutsu/](https://www.tais.ac.jp/library_labo/sobutsu/)

※日程等に変更が生じた場合は、随時、上記HP上にてご案内いたします。